

RSTトレーナー会 だより 第22号	発行日 2024年 4月 吉日 対象期間(2023年10月～2024年3月) 発行者 会 長 兼 田 洪 男 編集者 副会長 岩 下 健 二
---	---



<トピックス>

1. 令和5年度(第74回)全国労働衛生週間
スローガン「目指そうよ 二刀流 こころとからだの健康職場」 本週間:令和5年10月1日～10月7日
2. 令和5年度兵庫安全衛生大会が開催される
令和5年10月12日(木) 西宮市民会館 アミティ・バイコムホール
3. 全国産業安全衛生大会(名古屋)が開催される
令和5年9月27日(水)～29日(金) ポートメッセなごやで総合集会が行われ、
11,500名の参加がありました。当、RSTトレーナー会からも事例研究発表を実施しました。
4. 年末年始無災害運動について
機間:令和5年12月1日～令和6年1月15日
『 健康と安全で幸せつなぐ 年末年始 』
5. 新年祈願祭が開催される 令和6年1月19日(金) 湊川神社
6. 令和6年度兵庫 RSTトレーナー会 総会 令和6年4月19日(金) 開催予定

目 次

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1. RSTトレーナー会だより22号 トピックス 目次 | P-1 |
| 2. RSTトレーナー会だより22号 巻頭挨拶(会長) | P-2 |
| 3. RSTトレーナー会 定例会(役員会)の報告 | P-3 |
| 4. RSTトレーナー会 優良事業所見学会 JW神戸工場 | P-4 ～P-7 |

RST トレーナー会(兵庫) 事務局 〒658-0041 神戸市東灘区住吉南町 1 丁目 12 番 21 号 電話(専用)078-855-2875 ホームページ http:// hyogo-rst.com

『健康第一 安全最優先』当会のポリシーです

前回に巻頭言を投稿したのは2020(令和2)年 会だより第18号でした。

忘れる事の出来ない“まさか”の新型コロナ発生で世界が恐怖と混乱で惑わされた年でした。やっと4年が経過し、インフルエンザ並みの第5類に認証されて、落ち着きはみせていますが、止まった訳ではなく、感染力の強い変異株が次々と発生し、むしろ増加している現状に留意し、決して油断してはなりません。

今年は「辰」年「龍」でジャンプアップの年かと期待して迎えた正月元旦に、能登半島沖の地震発生で先行の見える暗い年で出発となりました。

半年が経っても、未だ避難所暮らしの人たちが2千人を超えている状態を一日も早く解消させて、元の生活に戻れることを心から願うばかりです。

◎ RSTトレーナー界の現状

全国的に活動を再開しましたが、僅か13地域に過ぎず、中には会と云っても、個人資格であったり、会として活動しているのが、4団体(千葉 長野 中部 兵庫)で、東京が発足したと聞き、今後の発展に期待したいと思います。

コロナ過で今年度は4年ぶりに会長の地元、名古屋で定時総会が開催出来、ようやく会としてのシステムは整ってきたと感じています。

HPも立ちあげる事に決定しました。また女性会員が当会にしかいませんでしたが、中部の会に一人入会されました。女性役員も出来、もっとPRし、どんどん活動して頂きたいと願っています。当会は西の拠点である事をお忘れなく。

さて、当会も会員のレベルアップもあり、全員が講師資格者の目標に達したと考えています。しかし、現状に満足せず、もっと上を目指して、お互いにスキルアップに努めましょう。

そこで「健康第一」を当協会のポリシーに

いかに容姿端麗、頭脳明晰であっても、病で体を動かせないと、何の意味もありません。

高齢化社会と言われ、年々膨らむ医療費が国を亡ぼすとも言われています。

「病気の9割は歩くだけで治る」という本も出ている程です。

会員の皆さん、出来るだけ歩いて下さい

詳しいことは次の投稿にします。「ご安全に」

『 RSTトレーナー会 定例会(役員会)の報告 』

(2023 年 10 月～2024 年3月 議事録参照

2023年10月5日

役員会(1) 全国RSTトレーナー会 第6回定時総会・第9回情報交換会の結果について TKP名古屋

定例会(1) 第82回全国産業安全衛生大会事例研究発表の結果について

オンライン限定プログラムNo.24 松山監事

テーマ『新たな化学物質規制に関する職長の役割と対応』

(2) 勉強会(研修会) 講師 桜井 会員 テーマ『 整理整頓と安全衛生点検 』

(3) 優良企業見学会開催について:ジャパンウェスト神戸工場 11月10日(金)予定

2023年11月2日

定例会(1) 令和5年度 兵庫労働安全衛生大会の結果について (西宮市民会館)

(2) 優良企業見学会開催について:ジャパンウェスト神戸工場 参加者9名

(3) 勉強会(研修会)講師 藤原幹事 テーマ『 うっかりミスを防ごう 』

2023年12月8日 於「御殿」

役員会(1) 全国RSTトレーナー会 臨時役員会の開催について 12/15 名古屋 会長出席

定例会(1) 優良企業見学会の結果について:ジャパンウェスト神戸工場 参加者9名

(化学物質等処理工場)見学終了後意見交換会 酒蔵ダイニング 櫻宴

(2) 勉強会は納会開催の為中止

(3) 年末年始無災害について

2023 12/1～2024 1/15 『 健康と安全で幸せつなぐ年末年始 』

2024年1月11日

定例会(1) 12月定例(役員)会 意見交換会の結果について

12//8(金)「御 殿」で開催 10名

(2) 2024令和6年度 第12回定時総会準備 臨時役員会の開催予定について

令和6年2月28日(火) レストラン ロインにて開催を決める

(3) 第83回 2024令和6年度全国産業安全衛生大会

事例研修発表の応募について 延山委員案

(4) 勉強会(研修会)講師 瀬口 監事 テーマ『 第10章 災害発生時における措置 』

2024年2月1日

役員会(1) 第12回令和6年度 RSTトレーナー会定時総会準備(第1回臨時役員会)開催について

(2) 令和5年度全国RSTトレーナー会(臨時役員会)の開催 結果について (会長)

定例会(1) 勉強会(研修会)講師 金 宏 委員 テーマ『 第1章 指摘・教育の進め方 』

2024年3月7日

定例会(1) 令和6年度 勉強会(研修会)計画書(案)について

(2) 2024(令和6)年度 優良企業見学会候補選定準備について

(3) 勉強会(研修会)講師 山本 幹事 テーマ12章関連『 労災事例・再発防止対策 』

(4) 会員親睦・健康増進を図る、文化・歴史を巡るウォーキングコースの選定について

六甲アイランド案 年2回春・秋)半日・1日コースを計画する。

優良事業所見学会に参加

金 澤 宏

ジャパンウェスト(株)神戸事業所神戸工場を見学して

雨の 2023 年 11 月 10 日(金)、阪神電鉄魚崎駅で集まり神戸工場に到着した 8 人は、2 階会議室でジャパンウェスト(株)神戸事業所神戸工場工場長、技術部安全推進 G 課長、同部同G主任及び神戸工場の 4 名方の歓迎を受けました。

まず、同社神戸事業所神戸工場の工場長より 所内及び、周辺の説明を動画で紹介されました。同社神戸事業所神戸工場では営業部、技術部、物流部、調達部及び管理部の 60 名が日々、各種工場、教育機関、医療機関等が出す多種多様で危ない廃液を中和、凝集沈殿、油水分離、シアン分解等の処理方法で無害化し、製造原料、エネルギー原料に生まれ変わらせています。

同社神戸事業所神戸工場の重点安全行動は4つです。「現場現物をよく見る、物の明示を徹底する、3Sを徹底する、確認行動を徹底する」。2010 年 2 月 22 日から約 5,000 日間、同社神戸事業所神戸工場は無事故無災害を続けています。

工場長の会社紹介の後、工場見学に向かいます。廃棄物保管庫、油水分離場、凝集沈殿処理場等の見学です。構内は屋内外ともに見渡す限り道路も床もきれいです。なによりも、我々の提言をメモし写真を撮る 4 名の、謙虚とも言える改善意欲が印象的です。

今回の優良事業所見学会では我々は、主に、以下の 4 つを提言しました。

1. 油水分離場作業場で、廃油ドラム缶搬送路と作業員通路との間に柵は無く、加えて両所とも鉄製床の同暗色で、足場の確認を要する作業環境です。作業者は転倒時、廃油ドラム缶等に激突し、手足や顔を負傷する危険があります。足場の注意喚起についての明示を提言します。(岩下副会長)
2. 構内道路で、側溝に出来た 1 尺角程の開口部に安全対策がされていません。通行者が側溝へ転落し、足や腰等を骨折するリスクがあります。転落防止策の実施を提言します。(岩下副会長)

3. 局所排気装置設置室で、揮発性有害廃液を扱う作業場のゴミ箱に蓋がされていません。

2 台の排気換気扇は汚れがこびりつき真っ黒です。揮発性有害物質の吸引で作業員の健康に慢性的障害を来す危険があります。衛生管理に改善の余地があります。(藤原幹事)

4. 局所排気装置設置室で、清掃道具は壁にもたれてかけられ、台車はあちらこちらに置かれ、その内のひとつは他の道具類に混じって裏返しに置かれています。作業工具・器具置き場の明示が明確ではありません。3S 徹底管理に改善の余地があります。(藤原幹事)

※ その他にもありましたが、省略します。

工場見学を終えた 8 人は 2 階会議室に戻り、質疑応答を行いました。

最後に、今見学会の実現にご尽力いただいたジャパンウェスト(株)神戸事業所神戸工場工場長岩山様、技術部安全推進 G 課長小野様、同 G 主任大都様及び神戸工場主任高林様の 4 名に対し、RST トレーナー会を代表し兼田会長が感謝の意を申し上げました。

2023 年 11 月 10 日(金)16 時 20 分、ジャパンウェスト(株)神戸事業所神戸工場見学会は無事終了し、「櫻正宗記念館 櫻宴」になだれ込みました。

幹事の松山監事においては大変お世話になりました。ありがとうございました。

今回の見学会において、当初はもう少し不安全な事業所のイメージがありましたが、特に 4S がよく出ていました。

その中で指摘出来た事も成果だと思います。

楽しく有意義な見学会でした。ありがとうございました。

以 上

JW 神戸工場 RST トレーナー会による工場見学診断報告書

1. 訪問日 : 2023年11月10日 (金)
2. 対応者 : 神戸工場 岩山工場長、高林主任 (安全管理者)
JW 技術部安全推進 G 小野課長、大都主任

3. 訪問者 : RST トレーナー会員 8 名

- (1) 兼田 洪男氏 会長
(2) 岩下 健二氏 副会長
(3) 高橋 和子氏 副会長
(4) 山本日出男氏 幹事
(5) 藤原 都子氏 幹事
(6) 金沢 宏 氏 会員
(7) 村上 雅英氏 会員
(8) 櫻井 千恵氏 会員

4. 総括

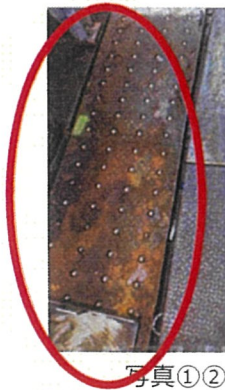
- (1) 構内に、産業廃棄物保管に伴う汚染の痕跡がなく、産業廃棄物処理企業のイメージが一掃された。
(2) 汚れても不思議の無い作業現場の 5 S も高いレベルを維持しており、各現場担当者の努力が伝わった。
(3) 第 3 者からの指摘も真摯に受け止め、現状に満足せず、改善しようとする姿勢が素晴らしい。

上記レベルはクリアしていることを確認した上で、今後、改善を求められる視点をご指摘頂きました。

5. 指摘事項 11 項目

(1) 構内の転倒リスク箇所 : 3 項目

- ① 油水分離棟内に段差があるので、不燃性素材による注意喚起のマーキングが望ましい (写真①②)
② 側溝グレーチングに隙間がある箇所があったので、足が取られないための養生が必要 (写真③)
③ 変形しているグレーチングに乗ると不安定で、跳ね返る恐れもあり、修繕が必要 (写真④)



写真①②油水分離棟内の段差



写真③グレーチング隙間



写真④グレーチング変形

(2) 表示と 3 定管理 : 2 項目

- ① 清掃用具の表示がないので、3 定管理 (定品・定位・定量) ヘレベルアップが望ましい (写真⑤⑥⑦)
② ドラム缶に表示がなく、在庫か空ドラムなのかが解りにくい。化学物質管理は表示が必要 (写真⑧)



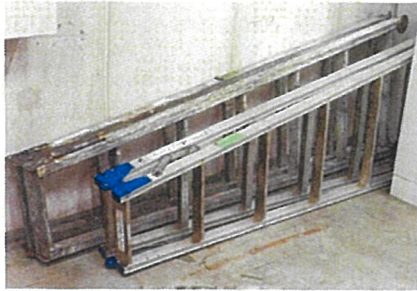
写真⑤⑥⑦: 清掃用具の表示なし



写真⑧: 表示のないドラム

(3) 定置管理（置き場所表示・ライン化等）：3項目

- ① 脚立の置き方に問題はないが、置き場所なのかかわからないので、立てかける選択肢も要検討（写真⑨）
- ② 台車の置き場所か、放置されているだけなのか区別がつかないので、ライン化を要検討（写真⑩⑪）



写真⑨：脚立置き方

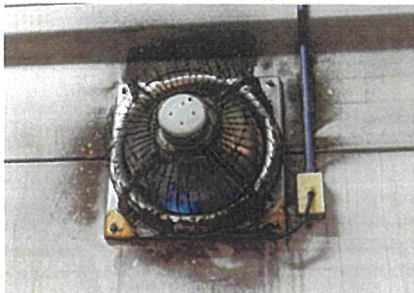


写真⑩⑪：台車置き方



(4) 維持管理その他：3項目

- ① 換気扇周辺に排気ガスと思われる黒いすすが付着堆積しているので、定期清掃が必要（写真⑫）
- ② 頭上注意表示は良好なので、床面に加え、上部に緩衝材か注意喚起表示が必要（写真⑬⑭）
- ③ 壁の時計掲示は良好であるが、動かず止まっていたので、正確な時間を表示させて欲しい（写真⑮）



写真⑫：汚れた換気扇



写真⑬⑭：頭上注意表示



写真⑮：壁時計

6. 改善に向けてのアドバイス

(1) 5S 見える化推進：トイレ草履マークなどを参考にする

- ① 工具置き場や清掃道具の置き場には、在庫保管数も表示して定量管理を行う。
- ② 在庫管理は、整頓の基本である3定（定位・定品・定量）を整備することから取り組む。
 - 1) 定位：置く場所を定める。
 - 2) 定品：置くものを定める。
 - 3) 定量：置く量を定める。

例えば、写真⑤⑥⑦で示した清掃道具保管場所場所を定量管理する場合の改善事例を右写真⑰に示す。

このような表示をすることで、第3者にも基準が明確となり、安全巡視等でも一目で正常か異常かが判断できる。



(2) マンネリ防止対策：異常なことを異常と認識させるために

- ① 3定を定めても保管量が超過することはあるが、無許可で現場に容認してはならない。
- ② 定めた場所以外に保管する場合は、期間限定で許可した旨を明示することで非常時と認識させる。

(3) 化学物質管理：法改正の厳格運用に向けて、表示に関しては、全ての容器を網羅するように検討すること

(4) 平均年齢が54歳に付き、転倒防止策の強化など、高齢化対策の推進で未然防止を行うこと

以上